

だて市政だより 災害対策号

【第75号】

平成25年2月28日発行

■三度目の3・11を迎えて

あの未曾有の大震災「3・11」から3年目を迎えることになりました。

今年の冬も寒い日が続いていますが、原発事故が起きたあの日も寒い日で、放射性物質がみぞれと共に地上に降ったのです。しかし、それを知ったのは3月23日にSPEEDIが公表された後で、初めて放射線量を計測器で計ったのは3月27日でした。

その後まもなく、子を持つ親から「外で遊ばせていいの」「避難しなくてもいいの」などの心配する声が上がりました。そこで、チェルノブイリの報告書を読み、避難しても再びふるさとへ戻るためには「除染」が必要であることを知りました。「とにかく、やってみよう」と表土を反転するなどの実験を行い、市独自で除染の取り組みを始めた一方で、当市の一部で線量が高いことが判明し、6月には小国地区などが国から「特定避難勧奨地点」に指定されました。

そこへ伊達市に縁のある原子力の専門家・田中俊一先生（現・原子力規制委員長）が協力を申し出られ、その指導の下、先生の仲間や保護者の皆さんにも協力して頂き、線量の高かった小国・富成小学校の校庭やプールの除染を行いました。その成果を元に議会の理解を得て10億円の専決処分を行い、高まりつつある子ども達への心配に対し、すべての学校の除染と暑い夏に向けての冷房取り付けと共に、子ども達にガラスバッジを着用させ、福医大の穴戸文男教授の指導で放射線への健康管理を強化しました。

また、農地の汚染により、米やアンポ柿から基準値以上のセシウムが検出されたことが問題になり、家庭では祖父母の作った野菜などをを孫には食べさせないということが起きました。放射能により家庭や地域コミュニティの崩壊が起こったのです。

昨年は除染を基本に、外部及び内部被曝から市民を守るための健康管理、農作物のセシウムの吸収抑制策など、出来ることは徹底して行ってきました。その結果、12月には「特定避難勧奨地点」の指定が解除され、作付けした全ての米が基準値を下回りました。しかしアンポ柿は2年連続で出荷停止となってしまいました。

3年目を迎える今、A、Bエリアに続いてCエリアの除染に鋭意取り組んでまいりますが、除染の効果と限界も明らかになりつつあります。低線量下での現実的な対策として、いかに市民の健康を守っていくか、自主避難している市民に安心して帰還してもらうためには何をすべきなのかが今後の課題であると思っています。

そうした観点から、今年は放射能を克服する正念場であると考えておりますので、市民みんなで智恵と力を合わせて頑張ってください。

伊達市長 仁志田 昇司

■市内各地域の放射線測定結果

放射線測定値（市測定、★印は国測定）				（単位：マイクロシーベルト/時間）			
測定地点	2/25	2/20	2/15	測定地点	2/25	2/20	2/15
伊達総合支所 正面駐車場	0.25	0.29	0.27	下小国中央集会所 入口★	0.38	0.45	0.44
梁川総合支所 正面銅像前	0.23	0.25	0.24	岩代小国郵便局 国道路肩	0.37	0.39	0.40
保原本庁舎 正面駐車場★	0.31	0.37	0.37	末坂バス停留所 県道路肩	0.60	0.79	0.75
富成郵便局 県道路肩	0.51	0.60	0.57	大木バス停留所 県道路肩	0.31	0.35	0.35
富成沼田地区石名坂 屯所入口県道路肩	0.80	0.98	0.88	月館総合支所 駐車場	0.27	0.32	0.30
富成グリーンタウン タウン内緑道	0.90	1.08	1.03	国道399号飯館村境 国道路肩	0.61	0.74	0.67
富成十区集会所 入口	0.67	0.74	0.71	月館相葎公民館 県道路肩	0.74	0.86	0.86
霊山総合支所 駐車場	0.39	0.43	0.44	掛田上組集会所 市道路肩	0.49	0.57	0.55
霊山パーキング 駐車場中央★	0.42	0.51	0.50	掛田日向前団地 集会所前	0.47	0.54	0.52
坂ノ上集会所 入口	0.46	0.52	0.50	県道臼石月館線飯館村境 県道路肩	1.57	1.76	1.82
八木平バス停留所 回転場中央	0.40	0.45	0.43	大柳字栃窪 市道路肩	0.73	0.83	0.81
小国ふれあいセンター 駐車場★	0.30	0.38	0.37				

☎市民生活部 環境防災課 ☎575-1228

■ Aエリア除染業務の進捗

(2月16日現在)

表の見方：●(終了)、▲(実施中)

地区	仮置場の確保	仮置場造成				フレコン搬入(※)	モニタリング			除染作業		
		測量	設計	工事	宅地		道路	公共施設	宅地	道路	公共施設	
小国	広畑	●	●	●	●	▲	●			●	▲	●
	小国東						●			●	▲	
	下小国西組	●	●	▲	▲	▲	●			▲	▲	
	松ノ口	●	●	●	●	▲	●			▲	▲	
	山下	●	●	●	●	▲	●	●	▲	▲	▲	●
	上小国中島	●	●	●	●	▲	●			▲	▲	●
	上小国中組	●	●	●	●	▲	●			●	▲	●
	上小国上組	●	●	●	●	▲	●			▲	▲	●
石田東部 月館東部	坂ノ上	●	●	●	●	▲	▲			▲	▲	●
	八木平	●	●	●	●	▲	●			▲	▲	▲
	月館7-1	●	●	●	▲		●	●		▲		
	月館7-2	●	●	●	●	●	●			●	●	●
	布川5	●	●	●	●	▲	●			●	▲	●
	布川6	●	●	●	●	▲	●			●		▲
富成	1区	●	●	●	▲		●			▲		
	2区	●	●	●	●	▲	●			●	●	
	3区	●					●					
	4区						●					
	5区	●	●	●	▲		●			▲	▲	
	6区						●					
	18区	●					●					
	7区						●			▲	▲	
	8区						●			▲	▲	
	9区	●	●	●	▲	▲	●	●	●	●	▲	▲
	10区						●			▲	▲	
	11区						●			▲	▲	●
	12区	●	●	●	▲	▲	●			▲	▲	
	17区						●			▲	▲	
	13区	●	●	●	●		●			▲	▲	
	14区	●	●	●			●			▲		
15区	●	●	▲			●						
16区						●						
柱沢	高野	●	●	●	●	▲	●			▲	▲	
	日向山土橋	●	●	●	▲	▲	●			▲		
	中森上ノ寺	●	●	●	●	▲	●			▲		
	平上	●	●	●	●	▲	●			▲		
	平下	●	●	●	●		●			▲	▲	
	滝ノ沢	●	●	●	●	▲	●			▲		
	台兎山	●	●	●	●	▲	●			▲		
	四ツ橋	●	●	●	●	▲	●			▲		
	武士沢						●			▲	▲	
	西沢柿ヶ作	●	●	●	●	▲	●	●	●	▲	▲	
	中屋敷						●			▲	▲	
	東沢						●			▲	▲	
	八光内新井山						●			▲		
	神野畑						●			▲		
	関畑河部						●			▲		
	大黒内	●	●	●	▲	▲	●			▲		
	入ノ内安住内						●			▲		
	東畑中上						●			▲		
根子屋	●	●	●	●	▲	●			▲			
掛田	金子町						●			▲		
	新町						●					
	岡	●	●	●	▲	▲	●					
	南町						●			▲		
	掛田上組						●			▲		
	中町	●	▲				●			▲		
	北町1						●			▲		
	北町2						●			▲		
	館	●	●	●	●	▲	●	●	●	▲		
	谷津団地	●	●	●	●	▲	●			▲		●
	谷津						●			▲		
	朝草口	●	●	●	●	▲	●			▲		
	日向前	●	●	●	●	▲	●			▲	▲	
	日向前団地	●					●			▲		
八幡内						●			▲			
下在						●			▲			
田沢	●	●	●	●	▲	●			▲		▲	

※フレコン：大型土のう袋

問 市民生活部放射能対策課 ☎575-1003

■山形県米沢市と大規模災害時相互応援協定を締結

本市は、2月19日に山形県米沢市と大規模災害時相互応援協定を締結しました。

震災の教訓から、大規模な災害時における市町村間の協力が必要であるとの認識のもと、相互応援協定の締結を進めており、北海道松前町、島根県出雲市、新潟県見附市、新潟県三条市、滋賀県草津市に続いて6つ目の締結となりました。

締結式は米沢市役所で行われ、安部三十郎米沢市長と本市の仁志田昇司市長が出席し、相互の協力を確認しました。

米沢市とは上杉氏・伊達氏の歴史を通じた繋がりがあり、安部市長は、「この協定を契機に両市の絆をさらに深めていきたい」と期待を述べました。



協定書を取り交わす安部市長と仁志田市長

☎ 市民生活部環境防災課 ☎ 575-1197

■こどもリフレッシュ事業に970人



南会津町でのウィンターキャンプ

市では今年度、子どもたちが市外でのびのびと活動し、日頃の運動不足の解消とストレス発散を図れるように、夏休みや冬休みなどを利用したキャンプ事業「こどもリフレッシュ事業」を実施しました。

市が主催した南会津町、長野県南牧村でのサマーキャンプや南会津町でのウィンターキャンプのほか、各種団体が主催したキャンプにあわせて971人の親子が参加。

保護者からは、「参加して大人になった」「積極的に手伝うようになった」など、事業による効果を喜ぶ声が寄せられました。

種 類	伊達市実施事業（実施場所）	他団体実施事業	計
サマーキャンプ	506人（南会津町、長野県南牧村）	210人	716人
ウィンターキャンプ	173人（南会津町）	82人	255人
計	679人	292人	971人

☎ 教育委員会教育総務課 ☎ 577-3245

■「甲状腺検査」説明会を開催

福島県と福島県立医科大学による県民健康管理調査「甲状腺検査」の説明会が開催されます。

この説明会は、「甲状腺検査」の内容や甲状腺に関する医学的特徴などを紹介、説明することで、小児甲状腺がんに対する不安を軽減することを目的に開催されるものです。

●日 時 3月10日（日）13：30～15：30

●場 所 保原市民センター

●内 容 甲状腺についての基礎知識と検査の目的、検査結果、質疑応答など

☎ 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター ☎ 024-549-5130

■ ガラスバッジ検査結果（平成24年10月～12月分）

平成24年7月から全市民を対象にガラスバッジによる外部被ばく検査を実施しています。第2期（平成24年10月～12月分）の検査結果がまとまりましたのでお知らせします。

- 対象者 5万1,445人（1月末までに回収された人）
- 測定結果 地区ごとの平均値を掲載しています。

○特定避難勧奨地点の指定を受けた地域

（mSv：ミリシーベルト）

地 区	測定件数 （人）		3カ月の実効線量 （mSv/3カ月）			1年間の推定線量 （mSv/1年）		
	7-9月	10-12月	7-9月	10-12月	比較	7-9月	10-12月	比較
保原町富成	901	1,113	0.8	0.6	▲0.2	3.2	2.4	▲0.8
霊山町小国、石田 坂ノ上・八木平	1,072	1,207	0.8	0.5	▲0.3	3.2	2.0	▲1.2
月舘町相葎	38	24	0.9	0.5	▲0.4	3.6	2.0	▲1.6
計	2,011	2,344	0.8	0.5	▲0.3	3.2	2.0	▲1.2

※線量の低下は除染の効果によるものと推測されます。

○それ以外の地域

地 区	測定件数 （人）		3カ月の実効線量 （mSv/3カ月）			1年間の推定線量 （mSv/1年）		
	7-9月	10-12月	7-9月	10-12月	比較	7-9月	10-12月	比較
伊 達	8,670	8,741	0.2	0.2	-	0.8	0.8	-
保 原	17,766	17,122	0.2	0.2	-	0.8	0.8	-
梁 川	14,733	14,533	0.1	0.1	-	0.4	0.4	-
霊 山	5,871	5,609	0.3	0.3	-	1.2	1.2	-
月 舘	2,965	3,096	0.3	0.3	-	1.2	1.2	-
計	50,005	49,101	0.2	0.2	-	0.8	0.8	-

※実効線量：3カ月間の実測値

※1年間の推定線量：実効線量を4倍したもの

● 市政アドバイザー宍戸文男氏（福島県立医科大学放射線医学講座教授）からの見解

前回との比較で、市全体の平均値では変わらないものの特定避難勧奨地点の指定を受けた地区では、減少傾向がみられました。

この結果から、政府が定める20ミリシーベルト/年間を十分に下回っていることが確認できました。放射線影響で将来健康への被害は考えにくいと思われ
ます。

測定期間の終了したガラスバッジは忘れずに返送してください。

第1期（7月～9月）、第2期（10月～12月）測定のガラスバッジをまだ返送していない人は、必ず返送するようお願いします。自身の実測値を知り、外部被ばくの不安解消や健康管理に役立てる大切な取り組みです。またガラスバッジは再利用されるものですので、着用しなかった場合でも返送してください。

現在測定中の第3期（1月～3月）分については、3月末に返送していただく予定です。（3月末まで測定するガラスバッジには青色の帯がついています）

☎健康福祉部健康推進課 外部被ばく検査事業担当 ☎573-0538

発行：伊達市災害対策本部（保原本庁舎3階）☎575-1003